

宇部市総合福祉会館について

- 宇部市総合福祉会館は昭和 49 年建築で、築 45 年になる。
- 施設の管理は、指定管理者「アジアJV」が平成 31 年 4 月～令和 6 年 3 月まで行う。
- 施設の状況は、平成 29 年度に耐震診断を実施したが、耐震性が基準を満たしていない。
- 設備（空調機器・トイレ等水回り・防火設備等）も老朽化が進んでいる。
参考：平成 29 年度 2,693 千円
空調機器、トイレの洋式化、ホール緞帳、畳表替等
平成 30 年度 6,897 千円
空調機器、ポンプ室呼水槽、パーテーション、ホール窓ガラス、防火設備等
- 現在の福祉会館では利用者に対するサービスの提供に限界があり、利用者が安全で快適に利用できる状態にするためには、耐震補強工事、劣化に対する改修工事（外壁、屋上防水、空調機器更新等）が必要になる。
※耐震補強＋空調機器更新費用 約3億5千万円（試算・消費税率8%）
そのほか、外壁改修工事、屋上防水改修工事に要する経費が必要
- 現在の宇部市総合福祉会館については、5年以内（令和6年3月末まで）を目途に廃止を検討する。
- 現在、宇部市総合福祉会館に拠点を置いている福祉団体には、利用者に対してよりよいサービスを提供するために、バリアフリー機能が充実した敷地内に隣接する多世代ふれあいセンターを主に検討している。
- 移転にあたっては、各団体の皆様の要望を踏まえ、調整を行う。
- 今後、多世代ふれあいセンターは市民に分かりやすく機能集約をした上で、福祉・健康の拠点としての活用を提案したい。
- また、現在の宇部市総合福祉会館は解体したのち、駐車場としての活用を検討したい。（現在の駐車可能台数は54台）